

遠友夜学校

新渡戸稻造が札幌農学校の教授をしていた頃、新渡戸稻造とメアリー夫人は夫人の実家エルキントン家から贈与された基金をもとに、私財を投げ打つて、札幌市の貧しい人々の子弟のための学校を設立した（1894年）。

エルキントン家からのこの基金は、エルキントン家に引き取られ、メアリー夫人の幼い頃は乳母として、成長してからも姉妹のように育てられた孤児が亡くなつた際に彼女が残したものだと言う。遠くの友より贈与された基金をもとに作られた夜学校、また、学ぶ意志あるものは年齢性別門地の区別なく入学させる趣旨で、「友あり遠方より来る。また樂しからずや」にも通じるということで遠友夜学校と名付けられた。

これより先、新渡戸夫妻は最愛の息子遠益を病氣で亡くしている。遠友にはこの「遠益の友」という意味合いもあつたのであろう。更に、彼の信ずるキリスト教の一派はクエーカー教「フレンド派」であった。この学校では北大生が無償で教鞭をとるばかりか、自分達の工面した金で教科書を買い、生徒たちには無料で与えていたのである。大学での学業の後に「夜学校の近くになると時間はあるのに走つてしまふ」（教師手記）というようにいそいそとやつて来る学生教師と、昼間の労働の疲れを癒す間もなく、「はだしで走つて」（生徒手記）学校に集まる生徒達。「両者はこの学校に互に引き合つた。そして白熱を発し合つたのだつた」（学生教師だった高倉新一郎）。

新渡戸稻造が設立した、貧しさ故に昼間の学校に通えない子供たちのための夜学校、遠友夜学校は「弱者に対する優しい視線を持つ」「知識や正義や人々の向上のために大志を抱け」という札幌農学校開学以来の伝統精神の北大生達による実践であった。

さらに、先生役を担つた北大生達はここで、彼らが叩き込まれた札幌農学校の精神を生徒達にも伝えようとしたのである。1898（明治31）年、有島武郎の作詞になる遠友夜学校校歌の歌詞には、人の目指すべきは富でも地位でも戦の勲功による名声でもなく、正義を愛し、清き心で真心込

札幌市資料館遠友夜学校記念室に展示されている札幌遠友夜学校校舎の写真
(札幌市教育委員会管理)

本校の特色

1. 世界で一つの学校。これほどどんな人でも入れる学校はありません。
2. 社会事業団体として諸君の勉強に最大の誠意と关心とを持っています。
3. 勉強は6時半から9時15分までです。
4. 働きながら勉強出来ます。
5. いくら年を取っていても差し支えありません。
6. 6年を終えていない人でも、13以上では小学校へ行けませんし、小学校を卒業しても分からなかったところをもっと勉強したい人は初等部に来てください。
7. 男でも女でもかまいません。
8. いつでも入れます。（初等部）
9. 月謝は要りません。
10. 学用品はあげます。
11. 先生は諸君の友達です。
12. 中等部の方は中等学校の勉強をします。中学校等へ行けない人のために設けてあります。

札幌市南4条東4丁目
財団法人遠友夜学校

[文盲への宣言] 遠友夜学校生徒募集のビラ

193 第6章 札幌農学校精神を継承し、学風を育てた卒業生たち

藤田正一著『日本のオールタナティブークラーク博士が種を蒔き、北大の前身・札幌農学校で育まれた清き精神』より

めいでそしむ生き様であると説かれている。北大の「大志を抱け」の解釈を、その文章が出来る（1915年）より前に、易しく具体的に歌詞で示したといつてよいだらう。

遠友夜学校校歌 作詞 有島武郎

（一）沢なすこの世の楽しみの樂しき極みは何なるぞ

北斗支ふる富を得て 黄金を数へん其時か

オー 否 否 否 楽しき極みはなほあらん

（四）樂しき極みはくれはとりあやめもたへなる衣手か

やしほ味よきうま酒か 柱ふとしき家くらか

オー 否 否 否 楽しき極みはなほあらん

（二）剣はきらめき弾はとびかばねは山なし血は流る

戰のちまたのいさをしを 我身に集めし其時か

オー 否 否 否 楽しき極みはなほあらん

（五）正義と善とに身をささげ 慾をば捨てて一筋に

行くべき路を勇ましく 真心のままに進みなば

アー 是れ 是れ 是れ 是れ 是こそ樂しき極みなれ

（三）黄金をちりばめ玉をしく高どのうてなはまばゆ

のぼりて貴き位やま 世にうらやまれん其時か

オー 否 否 否 楽しき極みはなほあらん

（六）日毎に業にいそしみて 心にさそる雲もなく

昔の聖今の大友とぞなしていそしまば

アー 是れ 是れ 是れ 是れ 是こそ樂しき極みなれ

（七）樂しからずや天の原 そら照る星のさやけきに

月の光の貴きに 心をさらすその時の

アー 是れ 是れ 是れ 是こそ樂しき極みなれ

（九）衣はやがて破るべし ゑひぬる程もつかの間よ

朽ちせて止まじ家倉も 唯我心かはらめや

アー 是れ 是れ 是れ 是こそ樂しき極みなれ

また、寮歌「都ぞ弥生」の作詞者・横山芳介も夜学校の熱心な学生教師であった。卒業後、横山は静岡県の小作官となるが、常に弱者の側に立つて任務を遂行し、多くの農民から神様と呼ばれるほど感謝された。自らも孤児を引き取つて育てている（後述）。

札幌農学校を去つた後、数々の重要な責務を担つて有名になつた新渡戸博士であるが、その間、決して札幌遠友夜学校を忘ることはなかつた。そして、1931（昭和6）年5月18日には、アメリカ・カナダへの旅の直前に、札幌遠友夜学校を訪れて講演し、「学問より実行」という書を大書し、夜学校に贈っている。夜学校にはもう一つ新渡戸が揮毫した扁額がある。それは翻訳すれば「何人にも惡意を抱かず、全ての人に慈愛を」というリンカーンの言葉を英語のまま筆で大書したものである。

この学校の校是は「リンカーンに学べ」であった。南北戦争で奴隸解放を呼び掛け、「人民の、

人民による、「人民のための政治」を高らかに宣言したアメリカのリンカーン大統領である。国家主義思想が大勢をなし、太平洋戦争の軍靴が高鳴る時期に、民主主義の精神を強く主張した敵国の元大統領に学べを校はとした学校が北大の教官と学生の献身の下に存続していたのである。遠友夜学校こそ、北大の教官と学生達が北大ではなし得なかつた教育の理想の実践の場所であった。

「昭和17年、文部省の教育方針にのつとらない学校」ということで授業停止を命ぜられた」^(註1)とも、「軍事教練を課さない学校は学校とは認められない」ということで、廃校にされた」^(註2)とも伝えられている。事実、昭和17年には軍事教練を課すように通達があつたことが当時の夜学校の学生教師（松井愈）の記録に残されているが、夜学校側はこれに従つていない。

戦時下的厳しい統制の中、文部省の教育方針にも服せず、敵国の元大統領リンカーンに学べを校は戦役に動員され、学校の存続は事実上、物理的にも不可能となつていた。実際に半世紀に渡つて、北大生の良心に支えられてこの学校は存続し、ついに平和主義を貫いて廃校となつた。それまでの50年間に約5000人の生徒が学び、1000人が卒業し、500人の北大生が教師として無償で教育に携わつた。

熱心な夜学校の学生教師であった石塚喜明（北海道大学名誉教授）は夜学校に於ける彼らの献身を次のように書いている。

「夜学校には、ピタゴラスはいない。師をへきえきさせるプラトンもいない。そこには、教わる者よりも数冊の書を多く学んだ師と、昼間の疲れを忘れて机に向う生徒があるにすぎない。しかるに、教師も、生徒も、共に夜学校へと引かれるのは、何か。これ、夜学校に満ちみちた熱の力である。教えるものの熱と教わる者の熱。これが互いに触れ合うときは、ピタゴラスもいらぬ。プラトンも無用である。何物をも焼きつくさねばやまない熱となり、これによつて見るに足らない夜学校が、他の学校と異なつた目に見えない効果をあげつつ、その特殊的存在を続けてきたのである。（中略）

単に自らの時間を、授業のために割愛するに止らない。課外の活動に、学校の経営に、教師への要求は無限であつた。遊ぶ時間を割いた。勉強時間を割いた。行事の忙しい時になると、放課後生徒に手伝わせて仕事を終り、生徒を自宅に送り、家に帰つてから、学生に帰つて予習などをすると、睡眠時間がいくらもないことがあつた。

時間の損失ばかりではない。電車切符を挙げ（辞退）した頃は、

札幌市資料館遠友夜学校記念室に展示されている新渡戸稻造揮毫の扁額（札幌市教育委員会管理）

リンカーンの言葉「何人にも悪意を抱かず、全ての人に慈愛を持つて」を新渡戸が筆で揮毫した。札幌遠友夜学校蔵 札幌遠友夜学校の校は「リンカーンに学べ」であった。



復元された札幌遠友夜学校の展示 写真：筆者撮影

札幌市資料館には1894年に新渡戸稻造が貧しくて学校に行けない子供たちのために設立した札幌遠友夜学校の教室の様子を再現した展示がある。新渡戸の揮毫による「学問より実行」の額が見える。

た。それも豊かな学資を受けている人々だけではなく、夜学校の宿直によつて下宿代を節約せねばならぬ、かつてどこかの夜学校生活を送つた人々もいたのである。そして卒業すると、記念だといつて、自分の愛読書を、古本屋に売るかわりに夜学校の文庫に寄附し、月給をとると維持会員になつた。（中略）犠牲だ、感謝だといわれると吃驚（びっくり）した。自らが救われた、感謝したい気持だつた。」^(註3)。

「札幌農学校、クラークとその弟子達」を著した蝦名賢造は遠友夜学校の意義について次のよう述べている。「新渡戸稻造夫妻の札幌に残したものも美しい、高貴な遺産の一粒は、このささやかな札幌遠友夜学校であった。それは新渡戸をふくむ札幌農学校全体の教育精神そのものの体現ともいべきものであり、また逆に農学校全体にヒューマニズムの精神を注入することにもなつた。もし札幌にこの遠友夜学校の一施設がなかつたならば、當時無学のままに一生を終わつてしまつたであろう数千の人材を育成しうる機会は永久にあたえられなかつたであろう。またこの夜学校あることによつて、この学校の教師として学生時代の重要な時間を数百人の札幌農学校生徒、そして北海道帝国大学学生が取り組み、人生と社会にたいする知識・経験をあたえられ、有用な人材として世に送り出されていった。これらの教師と子供たちを包容して、実際に半世紀にわたつて一貫して脈々と流れるヒューマニズムの精神はいかにこの地域の教育の深層に注入されたことであろうか」^(註3)。

まさに、かの有名な恵迪寮寮歌「都ぞ弥生」の作詞者横山芳介があこがれた「人の世の清き国」

の実践がここ札幌にはあつたのである。1995年の阪神淡路大震災のときに全国から多数のボランティアが被災地に駆けつけたことから、この年を「日本のボランティア元年」等と呼んでいるが、それより100年も前に札幌ではボランティアが誕生していたのである。

註1 蝦名賢造著『札幌農学校—日本近代精神の源流』

復刻版P284「札幌農学校」復刻刊行会2001年

高倉新一郎著『有島武郎と札幌遠友夜学校』札幌市教育委員会編「遠友夜学校」P217 1981年

註2 札幌遠友夜学校創立百年記念事業会（会長石塚喜明北大名誉教授）編『想い出の遠友夜学校』

北海道新聞社刊行 1995年

註3 蝦名賢造著『札幌農学校 クラークとその弟子達』

P180～181 図書出版 1980年

遠友夜学校

札幌のボランティア活動の原点がある

遠友夜学校は、後に国際人として世界を舞台に活躍する新渡戸稻造が萬里子夫人(メリーピ・エルキントン)とともに、社会に役立つためにと願って、札幌市中央区南4条東4丁目(中央若者活動センター跡地)に創設した私立の夜学校です。

新渡戸稻造が抱いた、札幌に設けたい学校の1つであったこの学校は、明治27年(1894)の開校から昭和19年(1944)の閉校まで50年にわたって、家庭の事情などで、勉強がしたくても学校に行けなかった札幌の不幸な青少年たちに、男女の別なく無料で開かれていました。

明治時代の中ごろに、慈愛の心を持って進んで社会奉仕を行った新渡戸稻造の崇高な精神に共鳴し、無給で先生をかけて出た友人たちや今の北海道大学の学生たち、そして懇かな援助を惜しまなかつた市民の人たちなどに支えられ、不十分であった教育制度のすき間をうめながら、希望の灯をともし続けた遠友夜学校は、札幌のボランティア活動の原点でもありました。

遠友夜学校記念室

昭和39年(1964)、遠友夜学校の跡地に札幌市の中央勤労青少年ホームが誕生。その中にこの学校の偉業を後世に伝える遠友夜学校記念室が設されました。

その後、中央勤労青少年ホームを引き継いだ中央若者活動センターの閉館に伴い、平成23年(2011)10月、札幌市資料館に移転し、リニューアルオープンしました。



遠友夜学校の誕生

新渡戸稻造は、明治24年(1891)に母校、札幌農学校(今の北大農学部)の教授として札幌に戻りました。その2年後、萬里子夫人に、アメリカの実家から1,000ドルの遺産が届きました。この遺産で、稻造の夢であった遠友夜学校が誕生しました。

岩さ日的新渡戸稻造と萬里子夫人(北海道大学付属図書館蔵)

**青春の炎をつぎ込んだ
奉仕活動の熱い息吹きが
伝わってきます。**



有島武郎代表(北海道大学付属図書館蔵)



半澤淳校長

校名の由来

遠い国から届いた遺産を立てたことと、論語の「友あり、遠方より來たる。また樂しからずや」から、遠友と付けられました。

遠友夜学校の教育

「學問より実行」とリンカーンの「すべての人に慈愛をもって」を根本に、他人への思いやりをもって実行できる人づくりを行いました。

遠友夜学校校章

【昭和4年(1929)制定】



雪を表わす銀白色の六角晶は、清浄、無垢、高潔など人間として持つべき心を。中に瞬く六つの星は、久遠、真理、理想、希望など人生に臨む心を。そして中央の金色に輝く「遠友」の文字には、友愛、喜び、勇気など、共に学び培う人生の宝を託しています。



遠友夜学校記念室のご案内

■開館時間／午前9時～午後7時

■休館日／月曜日(祝日のときは火曜日)

12月29日～1月3日

■入館料／無料

●地下鉄東西線「西11丁目」駅1番出口から徒歩5分

●市電「中央区役所前」または「西15丁目」から徒歩6分

●JRバス・中央バス「北1条西12丁目」から徒歩2分

遠友夜学校記念室

札幌市中央区大通西13丁目 札幌市資料館2階

☎(011)251-0731



さっぽろ市
02-300-11-1088
23-2-112

札幌市



「志行より実行」新渡戸稻造著(昭和6年)



当時を窺はせる 生徒諸君の機関誌



卒業アルバム



「何にも悪意を抱かず、すべての人に慈愛の心を持って」(リンカーン)新渡戸稻造著(昭和6年)

遠友夜学校のあゆみ

明治27年(1894)	1月	遠友夜学校開設
明治30年(1897)		この年、文部省小学校令施行規則にもとづき毎夜2時間授業開始。
明治32年(1899)	6月	第1回卒業生を送る
明治42年(1909)	12月	有島武郎代表就任[大正3年(1914)まで]
大正5年(1916)	3月	北海道より私立学校認可
大正10年(1921)	4月	中等部設置
大正12年(1923)	8月	北海道より財団法人認可
大正13年(1924)	3月	中等部第1回卒業生を送る
昭和4年(1929)	10月	新校舎完成
昭和6年(1931)	5月	新渡戸稻造校長来校
昭和8年(1933)	10月	新渡戸稻造校長力ナダで客死
昭和9年(1934)	6月	新渡戸萬里子校長就任[昭和13年(1938)まで]
昭和14年(1939)	1月	半澤淳校長就任[昭和19年(1944)閉校まで]
昭和18年(1943)	6月	創立50周年記念式典挙行
昭和19年(1944)	3月	閉校
昭和39年(1964)	3月	財団法人解散
	6月	夜学校跡に札幌市勤労青少年ホーム建設
平成23年(2011)	10月	同ホーム内に遠友夜学校記念室開室
		同ホーム(中央若者活動センター)閉館に伴い、札幌市資料館2階に遠友夜学校記念室移設

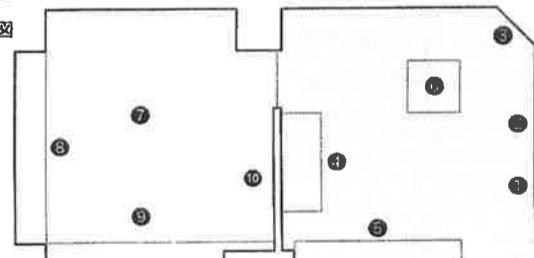


遠友夜学校記念室



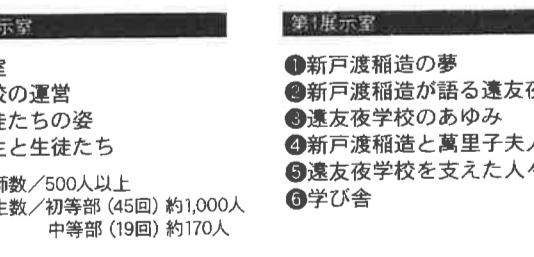
第1展示室

■平面図



第2展示室

■平面図



第2展示室

■平面図



- ①新渡戸稻造の夢
- ②新渡戸稻造が語る遠友夜学校
- ③遠友夜学校のあゆみ
- ④新渡戸稻造と萬里子夫人
- ⑤遠友夜学校を支えた人々
- ⑥学び舎

延教師数／500人以上
卒業生数／初等部(45回)約1,000人
中等部(19回)約170人

遠友夜学校

札幌実業会同窓



校章（昭和4年に決定）

*With malice toward none,
With charity for all.
Inazo Nitobe.*

旧札幌市中央勤労青少年ホーム内 「遠友夜学校記念室」発行資料

札幌市中央勤労青少年ホームは、昭和39年6月11日北海道で最も早く設けられた、勤労青少年のための福祉施設である。

この場所は、明治時代屈指の国際人として、また教育者として活躍された新渡戸稟造博士が「札幌遠友夜学校」を開いた由緒ある地でもある。

札幌遠友夜学校のこと

新渡戸博士が札幌の貧しい人々のために夜学校を設けようと考えられたのは、既に明治15、6年のころであった。明治18年（1885）11月13日、博士がアメリカのジョンズ・ホプキン大学に在学中、現在の北海道大学の前身である札幌農学校同窓で、親友の宮部金吾博士に送られた書簡の中に、「2、3年前ぼくが未だ札幌で教えて居った時、ぼくは公衆のために学校を設立する必要を強く考へさせられた。ぼくの札幌学校の理想は、三種の生徒を収容するにある。その第一は、老人あるいは成人の為にして、講義は邦語で歴史・経済学農学及び自然科学を教ふること。第二は、青年にして専門学校又は大学に入学を希望するも、官公立に予備校に入学することの出来ない人々のために、又第三には、貧しい人々の子供等に夜学校を建て初等教育を授け、出来れば英語を少しく、又測量その他の初步も加へたい。此等の部門に女学校を併設し、女子に刺しゅう、裁縫、縫物を教へ、邦語の外に英語をも教へる様にしたい。斯かる企画は、神の栄光を崇める道とならうと思ふ。片時も札幌に於ける此の教育上の理想が胸中より離れない」と書いておられる。

この第三の理想が明治27年「札幌遠友夜学校」として結実したのである。

こうして生まれた遠友夜学校も、当初は暗いランプに、破れ疊の民屋に附近の子供を集めて一週に二回、希望の教科を教える寺小屋式のものであった。教師は明治24年博士が帰国し教授となられた札幌農学校の生徒有志があつた。

間もなく毎夜となり、普通学のほか、看護法、礼式、裁縫、縫物等の実用学科に重きを置き、さらに国民として恥しからぬ趣味と常識と品性の培養に力を注ぎ、毎日曜には博士自ら教壇に立ち、修身講話をされ、その指導に当られた。

遠友夜学校の教育精神は、このころに培われたといつてもよく、間もなく上級生徒の修養会として設けられた倫古龍会（リンコルン会）は、博士がエブラハム・リンカーンの人となりを愛し、たびたび講話の中に現れたので、生徒等はこれに感動して、その言動を習うことを旨として生まれたもので、この会こそ遠友夜学校精神のバックボーンであった。

明治30年になって、24坪の校舎を寄附する有志が現われ、多数の生徒を収容できるようになったため、制度を改め、文部省小学校令施行規則に基づき尋常、高等の二科分け、毎夜2時間の授業をすることになった。しかし残念なことに、同年10月、生みの親、育ての親である新渡戸博士が、病氣静養のため札幌を去り、やがて国際舞台に活躍されることになり、この小さな学校には、わずかに明治42年6月と昭和6年5月とに訪れられたきりになった。

この後の事業は博士の同窓宮部金吾博士等を中心にその教え児たちの手によって続けられ、益々発展して行った。

夜学校の維持は、最初は新渡戸博士個人のポケットマネーから出たらしい。博士が去った後は、その維持のために札幌遠友会が設立され、会員の拠金によって経営されることになった。会員は、札幌在住の篤志家を主としたが、中にはこの事業に関係した北大卒業生も加わり、遠く海外から欠かさず送金してくれる人もあった。

明治42年6月、新渡戸博士夫妻が来校し、増改築の資金を寄附、翌43年増築にともない4学級編成となり、学校の体裁を整えていった。この後昭和19年3月まで、51年間の歴史を刻み、この間、札幌を去った後もカナダで客死されるまで、校長として在職した新渡戸博士であった。